

学校支援を積極的に進めよう

～ コロナ禍におけるPTA活動 ～

東栄町立東栄小学校PTA

1 学区及び学校の概要

本校は、東栄町に唯一ある全校児童数113名、各学年1クラスの小規模な小学校である。7年前に木造平屋建ての校舎に建て替えられたばかりで、大自然の中で先生、保護者、地域の人達に温かく見守られ元気一杯に学校生活を送っている。

2 研究のねらい

本年度コロナ禍の下、PTA活動が開始された。しかし誰も経験した事のない状況下で例年通りの活動は自粛を余儀なくされた。手探りではあるが、学校支援を積極的に進めるためPTA活動を今までにない方法で考え実践してみた。今まで当たり前と思っていたPTA活動を客観的に振り返る事で、その活動の目的、意義を見直す機会になると考えた。

3 研究の仮説

様々なアイデアを出し合い賛否はあるにせよ、学校支援に対する新たな取り組みを実践すれば、今後のPTA活動の在り方を議論するきっかけになるだろう。

4 研究の方法

今までにない新たな活動を企画してまずは実践してみる。実践後、「学校支援を積極的に進める」という視点で振り返り、成果と今後の課題を共有する。

5 研究の実践

(1) Let's enjoy staying home! ～おうち時間を親子で楽しもう!～

コロナウイルスに負けないぞ!

Let's enjoy staying home!
～おうち時間を親子で楽しもう!～

臨時休業の間はただのお休みではなく、「自分で勉強を進める」ようにと、担任の先生からアドバイスをもらって、がんばっていると思います。子ども大人も気持ちは頑張っているから私も頑張ります。

そこで、いわゆる「ゴールデンウィーク」に少し勉強はお休みして、親子でうちの時間を思いっきり楽しんでしまいたいと思いましたが、工夫しないと、エッチな時間が増えますよ。

*楽しくすごした親子の時間を記録に残しましょう(提出日～5/7日)---

家の「おうち時間」をしようかいますか!

家族みんなで大変楽しいですね!

5月〇日 紙おんどでいろいろ作りました。子どもたちも喜んで食べてました。

5月〇日 家族みんなでバスケットをしました。汗が思いっきり出ました。楽しかったです。

5月〇日 前から楽しみにしていた「さんげんぼう 折り紙」を作りました。とても楽しかったです。大まなものは自分で作ります。早くしてください。

5月〇日 お父さんと一緒にクッキーを作りました。お菓子もたくさん作りました。お友達にもたくさんあげました。とても楽しかったです。

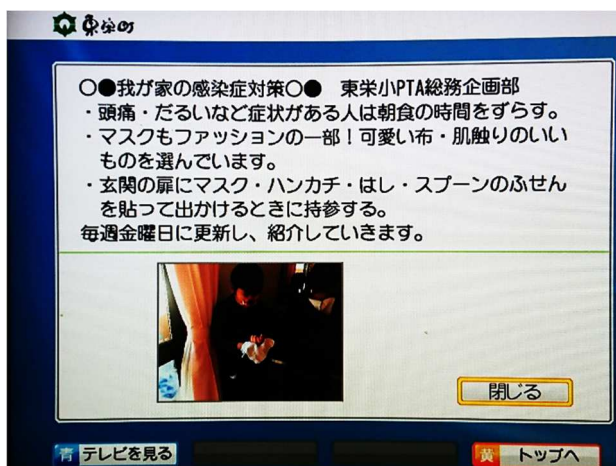
5月〇日 晩ごはんの後にトランプをしました。

毎日かいてもいいし、一週間楽しかったと子供に聞いてかいてもいいね。

特別なことだけでなく、ちょっとした事でいいです。

臨時休校の間はただの休みではなく、「自分で勉強を進めるように」と、担任の先生からアドバイスをもらって、子どもたちは頑張った。臨時休校が長期化し、子どもも親も気持ちに疲れが出始めたゴールデンウィークに少し勉強を休んで、親子でおうちでの時間を思いっきり楽しんでもらい、楽しく過ごした親子の時間を記録に残した。広報活動としてPTA会長にコメントを発信してもらい、PTAとしても協力して盛り上げるようにした。

(2) 我が家のコロナ対策



学校保健委員会と連携を図り、各家庭で工夫して取り組んでいるコロナ対策を共有して、参考にしてもらう活動を実施した。アンケートは、保護者会で活動の目的と方法を説明し、後日、個別面談の時にアンケート用紙に書いてもらい集計した。共有方法も総務企画部で議論して、紙媒体ではなく電波の「東栄チャンネル」を利用して広く町民へも発信する事にした。発信は8月下旬から開始し、毎週金曜日に更新して全ての取り組み内容を紹介していく。

(3) Zoomで情報共有



例年、年5回開催している「役員会」はコロナ禍で開催を見合わせ緊急事態宣言解除後の6月に第1回「役員会」を開催した。今までは、先生とPTA役員が学校に一堂に集まり「役員会」を開催する事に何の疑問も抱かなかったが、コロナ禍で会議の在り方を考えた。同じ場所に一堂に集まる事に意味があるのか？様々な有事に迅速に学校に集まる事ができるのか？授業をリモートで実施する事は可能か？そこでZoomを使った「役員会」を開催して、検証する事にした。学校側がホストになって先生、PTA役員総勢10名でリモート会議を実施した。

6 研究の考察

コロナ禍において、昨年までの活動をそのまま実践しようと考えていたならば何一つPTA活動はできなかった。昨年までの活動を否定する訳ではないが、少しでも、手探りでも新たな活動を模索し実践した事が今後の「学校支援を積極的に進める」事に繋がったと考える。特に「Zoomで情報共有」については、ハード面の課題（ネット環境）やソフト面の課題（雰囲気づくり）はあるものの、一つ一つ課題解決して「新たな生活様式」として取り組む事が重要と考える。

7 成果と今後の課題

今までのPTA活動にはなかった新しい3つの取り組みをして、それぞれに課題はあるものの「学校支援を積極的に進める」ためのPTA活動そのものを今までとは違った視点で考え、実践できた事は大きな成果であったと考える。

今後もPTA活動として従来のしきたり、慣わし、当たり前にと捉われず、新しい活動（取り組み）を考え、それぞれの時代や情勢にあった活動にフレキシブルに対応し変えていく事が「学校支援を積極的に進める」事に繋がると考える。これらの新しい活動（取り組み）を今後もPTAで考え、実践し、出てきた課題を一つ一つ解決して「新たな生活様式」として取り入れるよう一連の活動を継続していく事が重要である。